

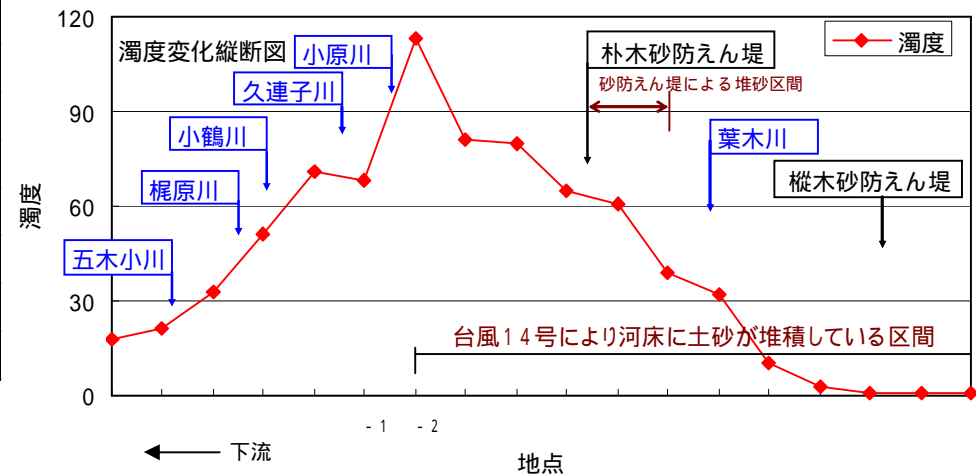
川辺川の濁りについてお知らせします。

川辺川では、平成18年1月14日以降、川の濁りが続いています。その調査結果と考えられる原因についてお知らせします。

濁度調査結果(調査実施日:平成18年1月19日・20日)

番号	調査地点	濁度
	球磨川合流点(川辺川・権現橋)	18
	川辺大橋	21
	頭地橋	33
	宮園橋	51
	川辺川(久連子川合流後)	71
- 1	川辺川(小原川合流後)	68
- 2	川辺川(小原川合流前)	113
	桂橋(朴木砂防えん堤より約1.8km下流)	81
	朴木砂防えん堤より約1km下流	80
	朴木砂防えん堤直下流	65
	朴木砂防えん堤直上流	61
	朴木砂防えん堤より約1.5km上流	39
	吐合橋(朴木砂防えん堤より約1.95km上流)	29

番号	調査地点	濁度
	朴木砂防えん堤より約2.5km上流	10
	朴木砂防えん堤より約3.5km上流	3
	縦木砂防えん堤直下流	1以下
	縦木砂防えん堤直上流	1以下
	縦木吊り橋(縦木砂防えん堤より約1.3km上流)	1以下

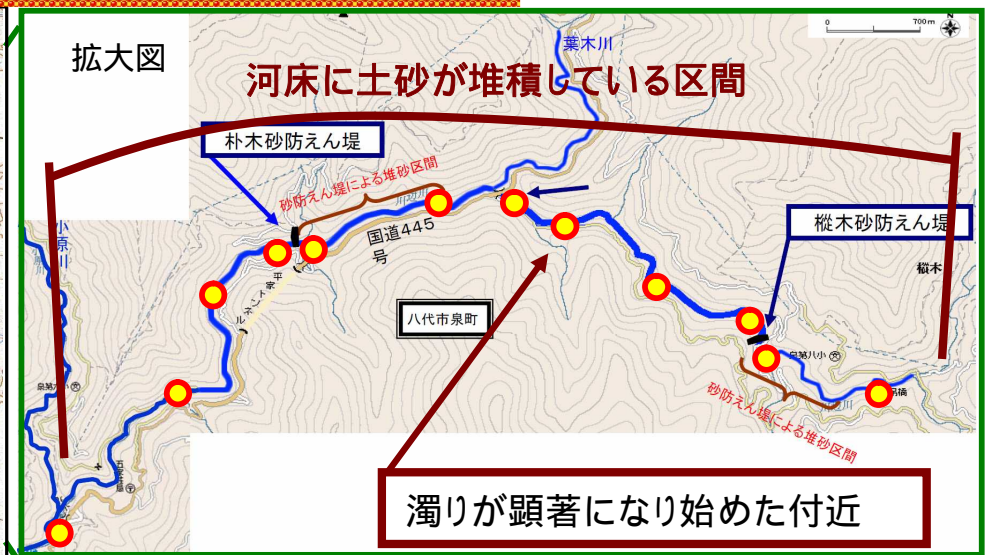
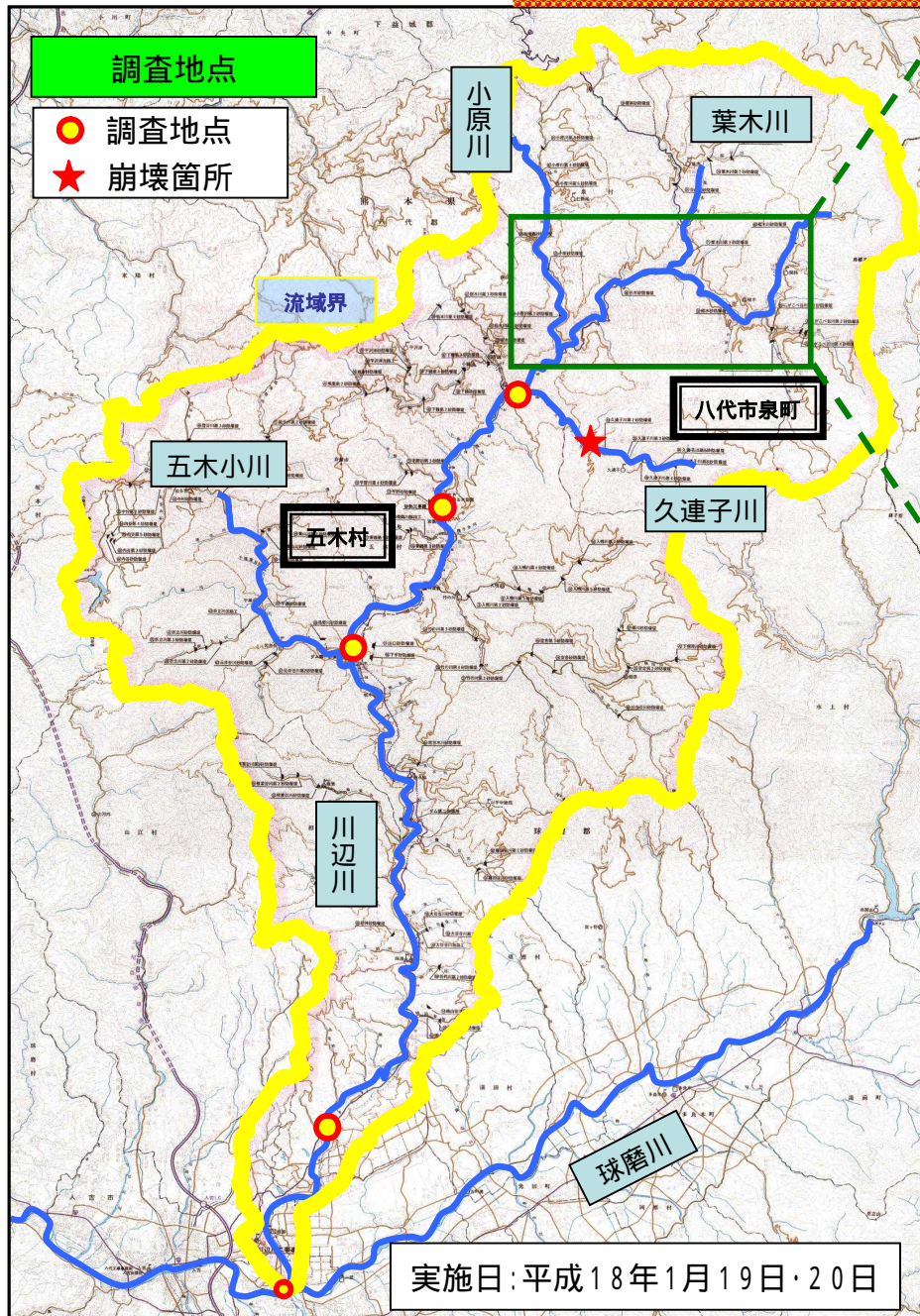


今回の濁りの発生に関する調査結果について

- ・1月13日～14日の降雨や雪解け水の影響で川辺川の水量が増加し河川の水位が上昇。
- ・砂防えん堤に関係なく土砂が堆積した区間で濁水が発生。
- ・崩壊した山腹の中腹からも濁水が発生し河川に流入。
- ・河床の土砂堆積がない区間では、支川等かの流入により濁りは徐々に薄まっている。

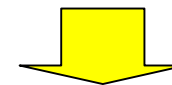
山腹崩壊で河床に堆積した土砂等が、水量が増えたことで流されていることが濁りの要因

調査実施内容

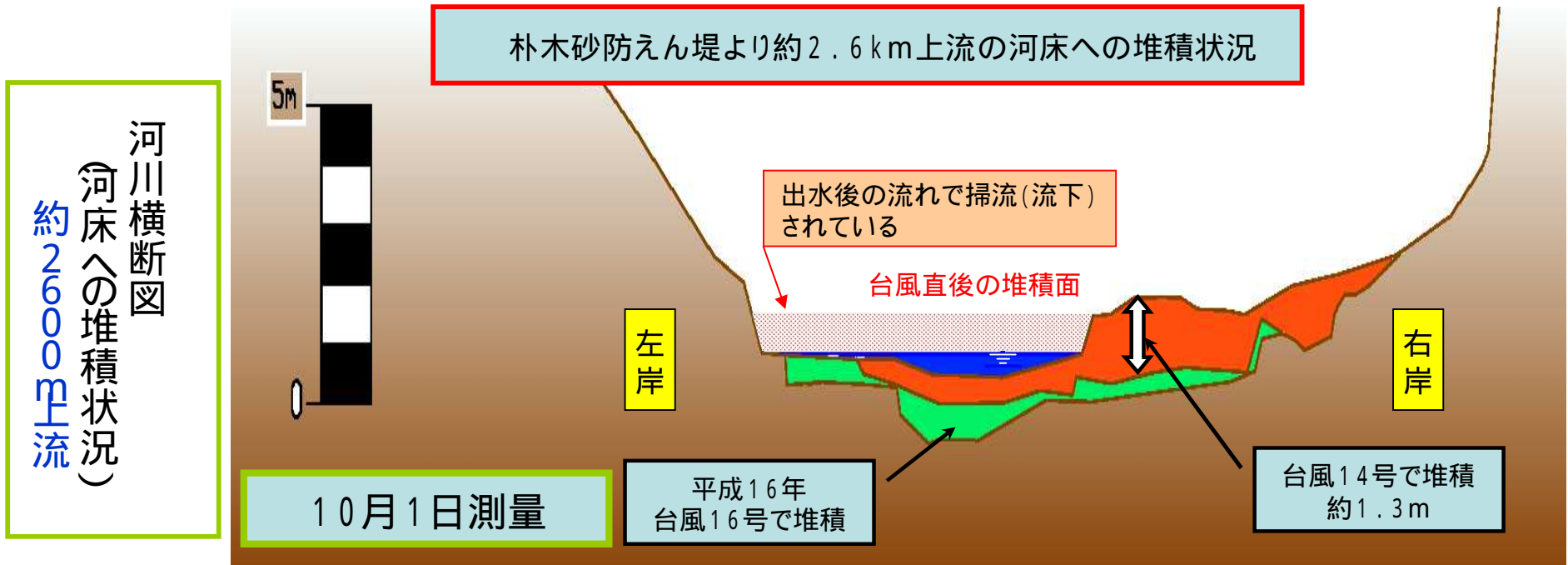


気象条件等について

- ・雨量 1月13日～14日 23mm (開持観測所) 発生源近傍
- ・気温 1月12日 最高気温 16.5° 最低気温 -3.9°
1月13日 最高気温 16.8° 最低気温 5.6°
前日比 最高気温 +0.3° 最低気温 +9.5°
気温は人吉測候所データ
- ・水位 1月12日1時 1.68m 13日1時 2.07m 柳瀬観測所
前日比 +0.39m

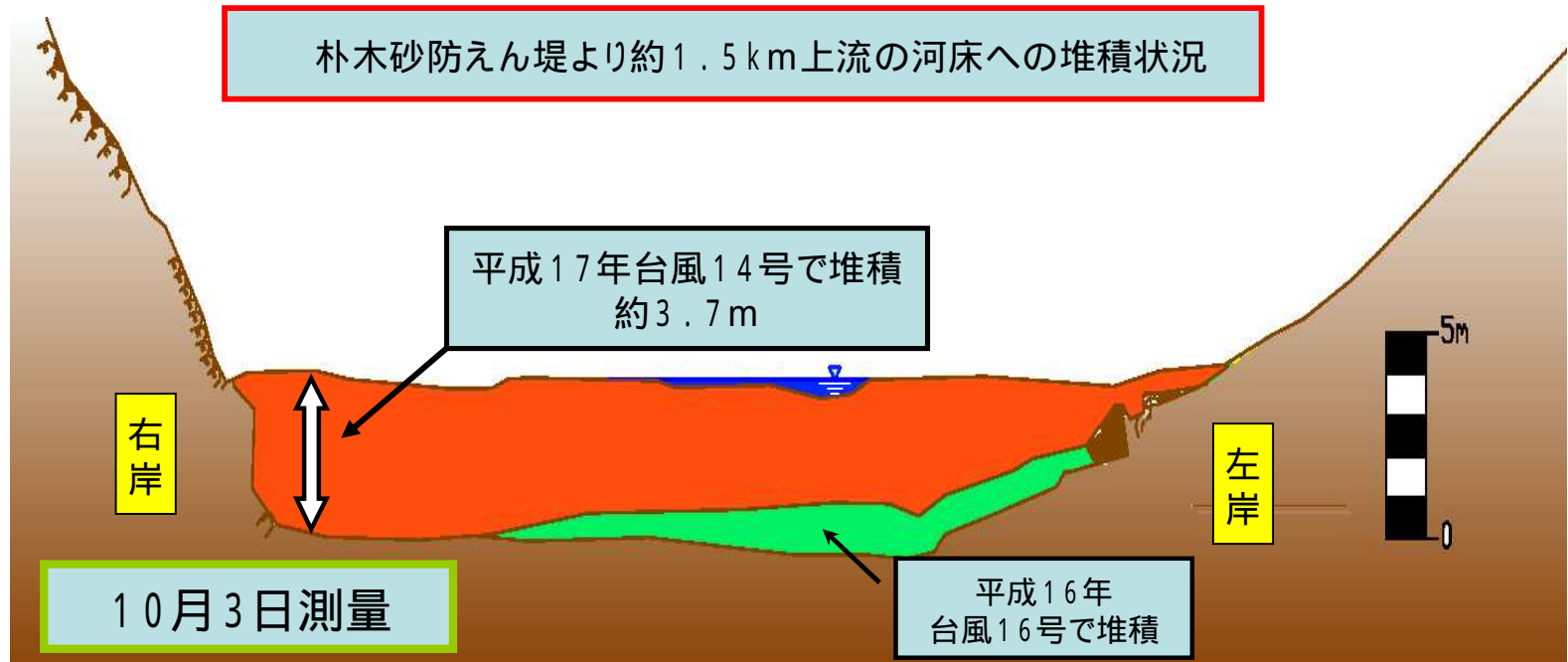


降雨及び気温上昇による雪解け水により水位が上昇



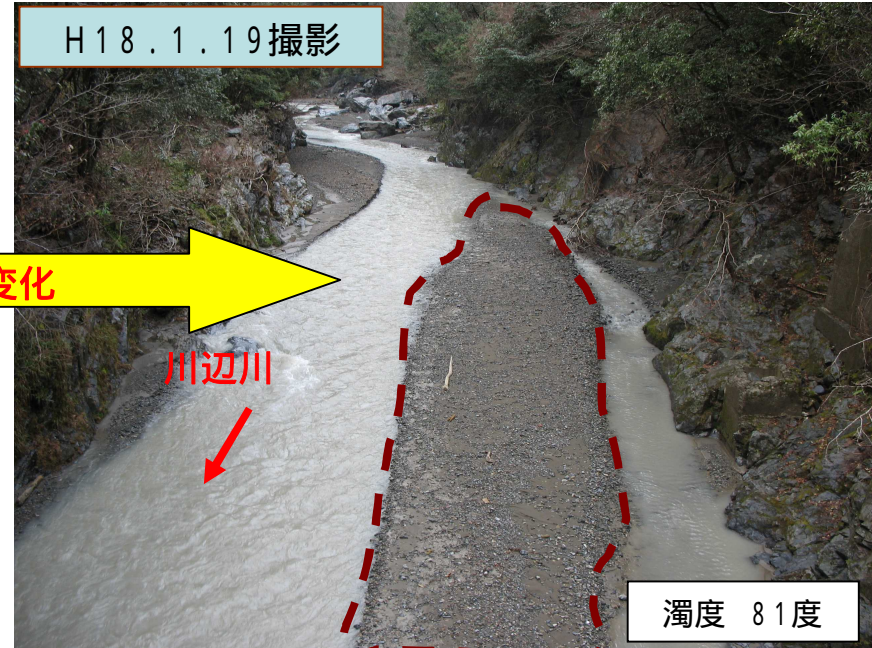


河川横断面
 (河床への堆積状況)
 約1500m上流



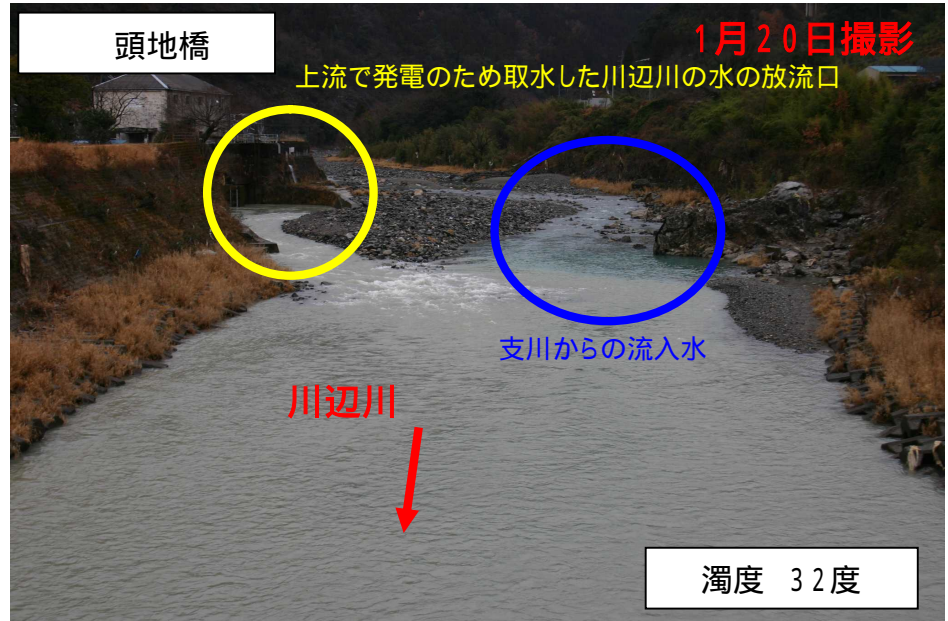


桂橋付近の川の流れの変化





濁度 小原川合流前113度 小原川 1以下 合流後 68度



少量の降雨でも山腹崩壊による濁りの発生事例について

今回調査時(20日)において、久連子川合流点で極度の濁りが発生していたため原因を調査すると、久連子川中流部の山腹が崩壊していることが判明(数年前に崩落した箇所が増大)しました。
昨年の台風14号以降、濁りが長期化したり、急に濁りが発生する原因は、このような山腹の崩壊による事が大きな原因と考えられます。

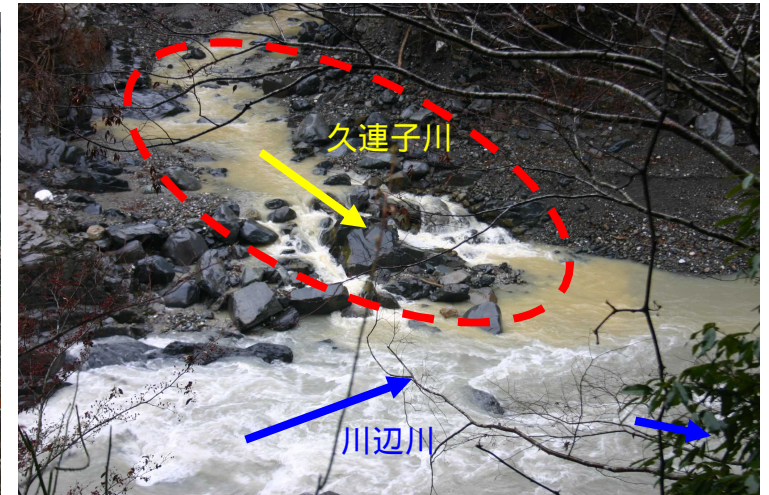
山腹崩壊箇所及び採水位置



山腹崩壊状況



久連子川・川辺川合流点の状況

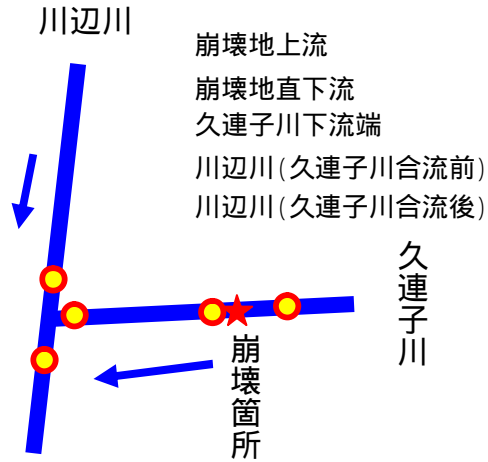


濁水原因: 崩壊斜面からの濁水の流入及び崩壊した土砂が川へ流れ込んだ事による濁水

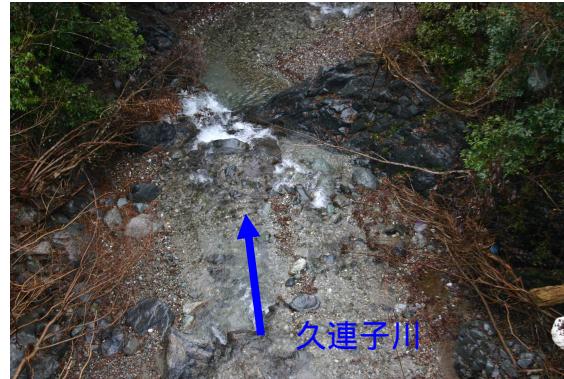


少量の降雨でも山腹崩壊による濁りの発生事例について ～濁りの変化状況～

調査地点(イメージ図)



崩壊地上流



濁度 3度
澄んだ清水が流れている

崩壊地直下流



濁度 456度
崩落土・斜面からの濁水により一気に濁水へと変化

久連子川下流端



濁度 116度
濁度が徐々に落ち着いてきている

川辺川(久連子川合流前)



濁度 67度
上流での濁りが徐々に薄まっている

川辺川(久連子川合流後)



濁度 71度
久連子川の合流により濁りが助長